

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	情報	科目	情報Ⅱ	学年	3年次	単位数	2単位	
教科書	東京書籍 情報Ⅱ			副教材	なし			
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	4回	メディア 視聴票	2通	試験	2回	
指導 目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的、創造的に活用し、情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア(東京書籍 教科書授業インターネット講座)		
1	4月12日	5月22日	1章 情報社会	01 情報社会の進展と情報技術 02 コミュニケーションの多様性 03 人間の知的活動への影響	1	1章 情報社会		
2	5月22日	6月19日	2章 コンテンツ	04 メディアの特性と利用 05 コンテンツの制作 06 こんてんつの発展	1	2章 コンテンツ		
3	6月19日	7月17日	3章 データサイエンス	07 社会にあふれているデータ 08 データベースの管理と操作 09 データの収集と整理 10 データの分析と分類 11 モデルの評価と検証 12 機械学習と人工知能		3章 データサイエンス		
4	7月17日	10月29日	4章 情報システム	13 情報システム 14 情報セキュリティ 15 情報システムの設計 16 情報システムのプログラム	1	4章 情報システム		
5	10月29日	11月27日	活用編	01 問題解決学習の進め方 02 協働学習 03 アイディアを出す方法 04 アンケートの作り方	1	活用編		
6	11月27日	1月23日		05 インタビュー 06 QCサークル 07 プレゼンテーションのポイント 08 プレゼンテーションソフトウェア 09 プレゼンテーションの評価 10 ポスターセッション 11 Web会議システムの利用				
学習の成果に係る評価規準								
【知識・技能】 情報活用の基礎となる情報手段の特性を理解している。 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法を理解している。								
【思考力・判断力・表現力】 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用することができる。 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造することができる。 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達することかできる。								
【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解している。 情報のモラルの必要性や情報に対する責任を理解している。								
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。								
○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。								
単位の修得の認定に関する基準								
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。								